

南の風

—第6号—

窓の外から金木犀のよい香りが漂ってきます。秋本番、朝晩はずいぶん寒さを感じるようになってきました。

2学期も半ばを迎え、文化祭や修学旅行といった行事が目白押しでした。一つひとつの行事を通して、子どもたちの経験の幅や興味関心が広がったことと思います。

さて、今月は「自立活動の授業(小学部)」と、重心部門の学校生活・授業の様子をお伝えします。

特別支援教育を考える

自立活動の授業 (小学部)

自立活動の授業では、子どもたちが「自分の生活をより良くするために必要なことを考えよう。」というめあての下、日頃感じている問題を解決するための方法を担任と考えて、一緒に取り組んでいます。

肢体不自由児施設に入所している子どもたちは、普段の生活の中でさまざまな制約があり、多くのストレスを抱えながら生活しています。その中で、ストレスを軽減し、安定した気持ちで学校生活を送れるよう、各自が考えながら取り組んでいます。1つ事例を紹介します。

ある児童は、好きなけん玉をしている時が日頃のストレスを忘れることができる時間となっていました。そこで、担任と相談し、自立活動の時間にけん玉に取り組むことにしました。その中で、「とめけん」という技ができるようになることを目標にして、練習に励みました。繰り返し練習を重ね、「とめけん」ができるようになってうれしそうでした。けん玉の活動を通して、ストレスの軽減とできる喜びを感じ、今でも自立活動の時間にけん玉に取り組み、新しい技の習得を目指して活動しています。



児童思春期精神科病棟に入院している子どもたちは、それぞれ自分の中で改善していきたいことや課題をもっており、自立活動の時間でこういった活動をしていけば良い方向に向かえるかを担任と考え、目標を立てています。

主に「①情緒の安定を図る②他者とのかかわりや集団への参加の基礎を身につける③状況に応じたコミュニケーションを身につける」を目標に様々な活動を行っています。この中から②③に関する事例を紹介します。

3～6年生で3人程度のチームを2つ作り、「新聞タワーゲーム」という活動を行いました。ルール説明をし、すぐにゲームを開始します。1ゲーム目が終わったらチーム内で相談したり、どうすればうまくいくかを一緒に考えたりして再度同じゲームを行いました。その後、ワークシートを活用し、全体で振り返りをしました。すると、「1回目は個々で考え、周りを気にせず動いたが、話し合いをすることで、チームとしてどう動けばよいか考え、実践することができた。」「チームメンバーの学年がバラバラだったことで、どう伝えればわかってもらえるかを意識しようと思えた。」など、②③に沿った学びを得ることができました。

一つの例ですが、一人ひとりが少しでも日々の生活を豊かにできるよう取り組んでいます。

学校生活 重心部門

重心部門は、9、10月に小6、中3、高3の児童・生徒が修学旅行に行ってきました。行先は『みなとみらい方面・象の鼻パーク』！ 福祉タクシーに乗り、約1時間のドライブ版の修学旅行です。コロナ禍が始まってから、なかなか校外に出ることができなかった子どもたち。久しぶりのお出かけということで、事前学習からドキドキワクワクの面持ちでした。修学旅行のテーマソングを聴いたり、当日着ていく洋服や髪留めを先生と一緒に選んだりして、気分を高めました。いざ修学旅行当日、学校を出発すると、窓から見える外の景色を楽しんだり、車の揺れを感じたりして、一人ひとりが楽しんでいる様子が見られました。

しっかりと事前学習もしました！



みなとみらいに到着！
象の鼻パークでは、記念撮影もしましたよ♪



11月 行事予定

7日	小学部 教育実習生受け入れ (～18日)	22日	中学部 2学期期末試験 午前日課 (～25日)
8日	高等部入学者選抜願書配付 (～11日)	24日	小学部3年 出前授業(消防署)
9日	小学部1～4年 食育指導	28日	小中学部 短縮4校時 (成績処理)
18日	高等部入学者選抜願書受付 (～25日)	30日	小学部1、2年 オンライン遠足